資料2-2

障害者による情報取得等に資する機器等の開発及び普及の促進並びに
質の向上に関する協議の場（第7回）

支援機器の開発及び普及にかかる取組

開催時期：令和8年10月29日（木）13:00～15:00（オンライン開催）

公益財団法人テクノエイド協会
企画部　五島清国

主な内容

- テクノエイド協会の概要
- 支援機器の開発から利用されるまでの流れ
- ニーズとシーズのマッチング
- 開発及び普及を推進する地域の支援ネットワーク
- 自立支援機器の情報システム
- 支援機器を活用する就労支援プロジェクト

主な内容

- **テクノエイド協会の概要**
- 支援機器の開発から利用されるまでの流れ
- ニーズとシーズのマッチング
- 開発及び普及を推進する地域の支援ネットワーク
- 自立支援機器の情報システム
- 支援機器を活用する就労支援プロジェクト

公益財団法人テクノエイド協会

福祉用具の開発及び普及の推進に寄与することを目的とした法人

- 1987年　3月　財団法人として厚生省より設立認可
- 1988年　4月　義肢装具士法による指定試験機関
- 1993年10月　福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律の施行
- 2011年　7月　公益財団法人として内閣府より認定

（主な事業内容）

1. 福祉用具・介護テクノロジーの開発・普及に関する事業
2. 福祉用具に関する調査・研究及び情報の収集・提供に関する事業
3. 福祉用具の臨床評価に関する事業
4. 認定補聴器技能者や福祉用具プランナー等、人材養成に関する事業
5. 義肢装具士の国家試験の実施
6. その他

主な内容

- テクノエイド協会の概要
- **支援機器の開発から利用されるまでの流れ**
- ニーズとシーズのマッチング
- 開発及び普及を推進する地域の支援ネットワーク
- 自立支援機器の情報システム
- 支援機器を活用する就労支援プロジェクト

支援機器の開発から利用されるまでの流れ

機器開発の着想

マッチング



設計計画



試作開発



実証評価



利用
安心・安全



実用化・販売

① ニーズ収集・マッチング（対面・Web）

試作・設計段階の相談
企業間の交流

各種の開発補助事業
の紹介

④ 実践において効果検証
活用モデルの普及啓発

③ 製品情報の提供、給付
等の事例紹介

障害者・家族、団体等

企業、大学・研究機関
（新規参入・技術転用）

② 地域支援ネットワークの輪

支援機器に係る関連機関
市区町村、更生相談所、医療機関、
障害者施設、養護学校　など

テクノエイド協会

厚生労働省
障害者自立支援機器
開発促進事業

経済産業省
課題解決型福祉用具実用化
開発支援事業（NEDO）

総務省
情報バリアフリー役務提供事業推進
助成金（NICT）

文部科学省
学習支援事業や産学連携推進
事業（JST）

主な内容

- テクノエイド協会の概要
- 支援機器の開発から利用されるまでの流れ
- ニーズとシーズのマッチング
- 開発及び普及を推進する地域の支援ネットワーク
- 自立支援機器の情報システム
- 支援機器を活用する就労支援プロジェクト

ニーズ・シーズマッチング交流会の開催











point

- 100社を超える支援機器のメーカーが試作機を出展、適合・調整、試用・体験
- 利用者や支援者と研究者、開発者等の交流
- AIの活用と実証評価に関するセミナー
- 支援ネットワークの活動報告
- 近年、企業間の連携促進

令和7年度 成果

ニーズとシーズの書き込み「掲示板サイト」



サイト

point

- 要望やアイデアを自由に投稿
- 新しい技術やイベント等を自由に投稿、紹介
- 目的や場面などキーワードで一覧、検索
- 写真や動画など投稿可能
- 平成21年（2009年）に開発、投稿件数1,089件（うちニーズ637件）
- 掲示板として活用し、マッチング機会の創出

主な内容

- テクノエイド協会の概要
- 支援機器の開発から利用されるまでの流れ
- ニーズとシーズのマッチング
- **開発及び普及を推進する地域の支援ネットワーク**
- 自立支援機器の情報システム
- 支援機器を活用する就労支援プロジェクト

地域で活動する支援ネットワーク

地域の関連機関と連携して、支援機器の開発や普及に関する業務を行う

厚生労働省・テクノエイド協会

障害者自立支援機器情報プラットフォーム

〇支援ネットワーク間の情報共有、知識やノウハウの共有
〇支援機器情報プラットフォームを通じた活動等の情報発信
〇活動報告、公開シンポジウムの開催・周知

連携

・経産省、総務省
・NEDO、NICT
・厚労科研チーム
・マッチング交流会

・支援ネットワーク（取組）の公募
・支援協力、実施協力
・支援ネットワーク活動費

・取組報告
・公開シンポジウム等への参加
・課題や解決策の共有、検討

地域において支援機器の開発や普及を推進する支援ネットワーク

支援ネットワーク ⇔ 支援ネットワーク ⇔ 支援ネットワーク ⇔ 支援ネットワーク

共有　共有　協働

連携

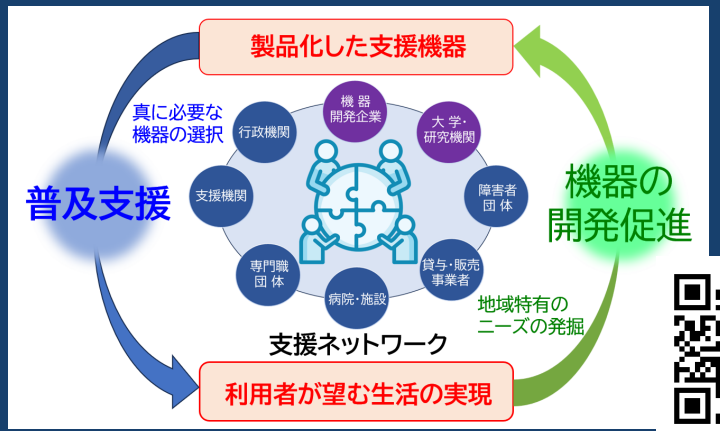
支援機器に係る管内の関連機関

・更生相談所、市区町村
・居宅介護支援事業所
・リハビリ専門職団体　等
・障害者施設、高齢者施設
・NPO法人、ボランティア
・医療機関
・開発及び製造企業、取扱業者

point

支援ネットワークの業務

- 相談窓口を設置
- 支援機器の適合調整
- 支援機器の展示及び貸出
- 地域の関係各所と連携
- 支援機器の普及及び開発に関連する研修
- 潜在ニーズの発掘、実証評価、開発企業へフィードバック　など



主な内容

- テクノエイド協会の概要
- 支援機器の開発から利用されるまでの流れ
- ニーズとシーズのマッチング
- 開発及び普及を推進する地域の支援ネットワーク
- **自立支援機器の情報システム**
- 支援機器を活用する就労支援プロジェクト

自立支援機器の情報システム(リニューアル)



point

- 支援機器情報の収集・提供
- 活用事例の提供
- 試用機会の提供
- 開発メーカーによる自己管理・承認
- 支援ネットワーク等との情報共有
- 給付等の円滑化・適正化、真に必要な支援機器の適切な普及

情報システムの内容・構成

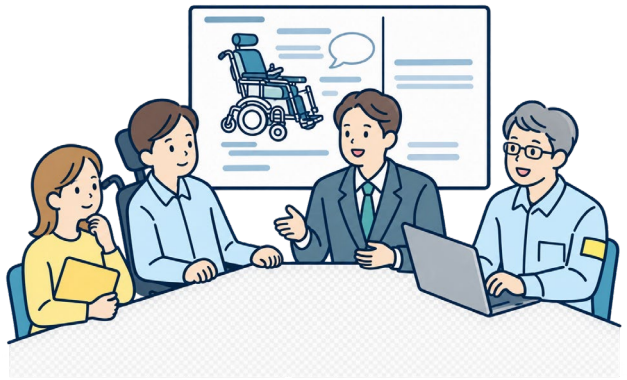
企業情報

企業情報

1 メーカー名
2 フリガナ
3 設立年月
4 業態
5 住所（郵便番号／都道府県／市区町村／それ以降）
6 電話番号※
7 ファクシミリ
8 営業日・営業時間
9 営業エリア
10 URL
11 メールアドレス

メーカーID
最終更新日

登録は任意
情報は随時更新



機器情報

a.製品概要

1 機器の名称※
2 型番
3 機器の写真（最大3点）
4 概要（350文字以内）
5 仕様（項目/内容 9項目）
~~6 ISO9999~~
7 CCTA95
8 販売価格
9 メンテナンス対応、費用
10 取扱説明書 ※今後はリンクとする
11 YouTube動画（最大3点、リンクとする）
12 使用上の注意（120文字以内）
13 サービス内容
14 試用貸出

②試用貸出、サービス内容

b.機器に関する問合せ先

1 住所
2 部署
3 担当者
4 電話番号
5 ファクシミリ
6 メールアドレス

c.利用事例（利用者（身体の状態）、利用した理由、導入の経緯、使用年数、専門職等関与について、350文字以内）

d.使用状況の写真（最大2点まで写真画像の掲載が可能です。（画像サイズは500px×500px以下、ファイルの拡張子はjpg形式））

e.販売店・代理店（店舗情報）

f.日常生活用具給付等の実績

対象分野※

1 肢体不自由者の日常生活支援機器
2 視覚障害者の日常生活支援機器
3 聴覚障害者の日常生活支援機器
4 盲ろう者の日常生活支援機器
5 難病患者等の日常生活支援機器
6 障害者の就労支援機器
7 障害者のコミュニケーションを支援する機器
8 障害者のレクリエーション活動を支援する機器
9 障害児の生活を豊かにする支援機器
10 ロボット技術を活用した障害者の自立支援機器
11 脳科学の成果を応用した支援機器
12 その他

使用場面※

1 日常生活
2 就学
3 就労
4 趣味・レクリエーション
5 スポーツ
6 公共施設等
7 その他

日常生活用具分類

1 介護・訓練支援用具
2 自立生活支援用具
3 在宅療養等支援用具
4 情報・意思疎通支援用具
5 排泄管理支援用具
6 居宅生活動作補助用具

補装具 ※左記、補装具のうち

1 義肢
2 装具
3 姿勢保持装置
4 車椅子
5 電動車椅子
6 視覚障害者用安全つえ
7 義眼
8 眼鏡
9 補聴器
10 車載用姿勢保持装置
11 起立保持具
12 歩行器
13 排便補助具
14 歩行補助つえ
15 重度障害者用意思伝達装置
16 人工内耳





③事例紹介



④支給実績

関連カテゴリ タグ

①タグ付け

1	読む	特別支援教育
2	書く	
3	聞く	
4	話す	
5	推論する	
6	計算する	
7	見る力	
8	記憶する	
9	不器用からの困難の支援	
10	不注意からの困難の支援	
11	多動性からの困難の支援	
12	衝動性からの困難の支援	
13	こだわりからの困難の支援	
14	人との関りの支援	
15	学習時の工夫	
16	全身の運動	
17	手指の巧緻性	
18	視知覚の認知	
19	アクセシビリティ機器・ICT機器	
20	サポート用具	
21	日常生活の指導	
22	国語・言語、コミュニケーション	
23	算数・計算	
24	音楽療法	
25	各教科の学習	
26	職業訓練	
27	環境改善	
28	施設	利用シーン
29	在宅	
30	事業所・グループホーム	
31	作業所	
32	学校	
33	企業	
34	通勤	
35	通学	
36	公共施設	
37	視覚障害	障害
38	聴覚障害	
39	肢体不自由	
40	内部障害	
41	知的障害	
42	精神障害	
43	ASD（自閉スペクトラム症）	
44	ADHD（注意欠如多動症）	
45	LD（学習障害）	
46	抑うつ	
47	双極性障害（双極症）	
48	全般性不安障害（全般不安症）	
49	ダウン症	
50	感覚過敏	
57	排泄	日常生活
58	入浴	
59	移動	
60	移乗	
61	食事	
62	就寝	

主な内容

- テクノエイド協会の概要
- 支援機器の開発から利用されるまでの流れ
- ニーズとシーズのマッチング
- 開発及び普及を推進する地域の支援ネットワーク
- 自立支援機器の情報システム
- **支援機器を活用する就労支援プロジェクト**

支援機器を活用する就労支援プロジェクトの実施

障害者等を雇用している企業等において実際に支援機器を使用し、その効果について実証を行うことにより、障害者等の就労支援を促進する

条件（対象者、対象行為、補助率等）

国 → 補助

テクノエイド協会 → 補助
製品製造・調整・設置費用の2/3、（※）1/2
導入効果測定費用の1/1
（※）製造事業者が大企業・社会福祉法人の場合

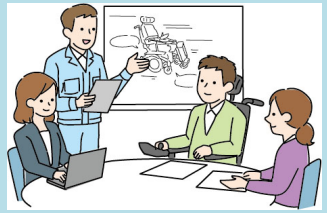
支援機器の製造事業者、仲介者、一般企業等から構成される実証評価チーム

①製造事業者



◎支援機器の製造・改良・調整

②仲介者



③障害者を雇用している企業等



◎実証評価の実施
◎適合のポイント、機器改良等のフィードバック

チームA

チームB

point

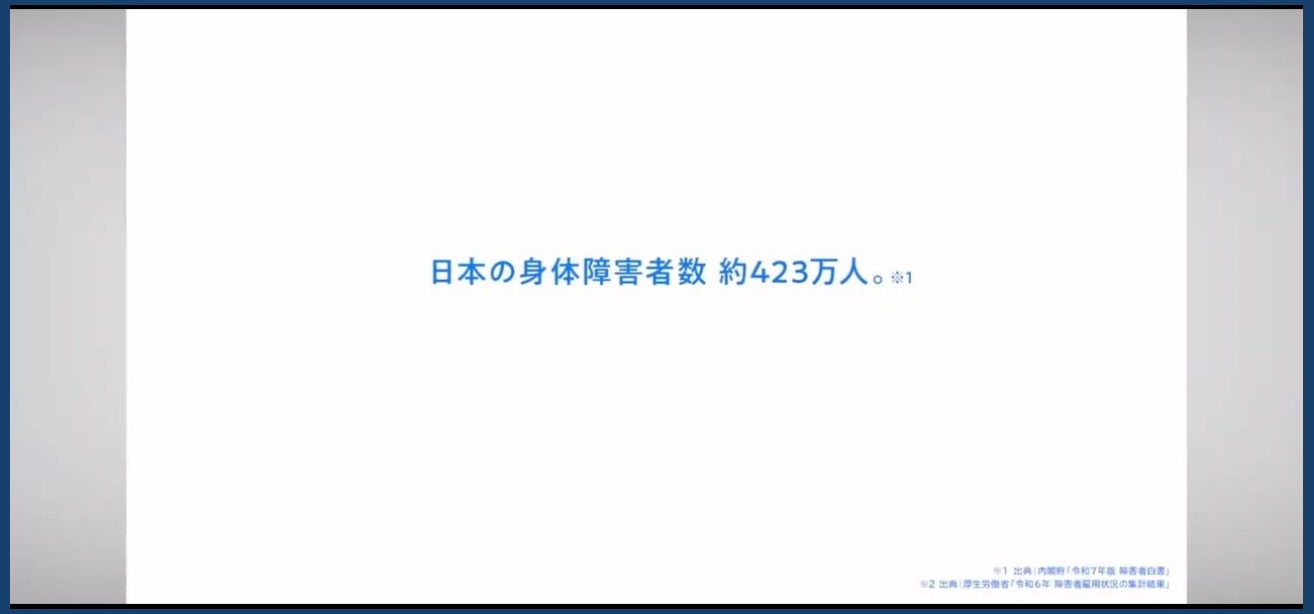
補助対象　障害者の活動や参加、就労を支援する機器・システム

- 障害の種別を問わず、障害者の就労を支援する機器等
- 障害者の就労にあたってコミュニケーション等を円滑化する機器等
- 障害者の在宅や遠隔からの就労を可能とする機器等
- 障害者が利用することにより業務の効率化・円滑化に資する機器等
- その他、障害者の就労に関連する通勤や身支度を支援する機器等



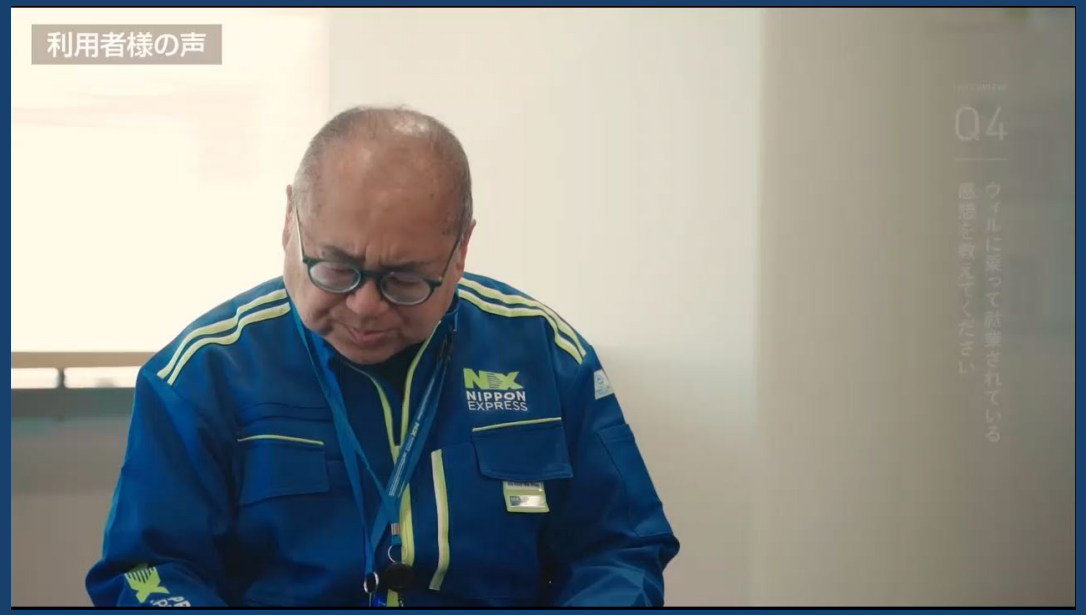
令和7年度 成果

重度肢体不自由を有する方の能力の発揮に向けた機器の導入による就労の実現



・**仲介者として作業療法士が参加**し、うまく使えるよう機器の適合だけでなく、**気持ちのフォローも含めて環境調整**している
・評価では、当事者だけでなく雇用者の調査も実施
・1名は試用雇用から正規雇用へ移行、もう1名は作業効率が向上
　　結果：対象2名全員が機器を活用して就労を継続

倉庫環境におけるモビリティ支援機器導入の効果に関する評価



・倉庫内を**モビリティで移動し、作業効率の向上**をはかる
・障害のない方との比較対照評価やユーザビリティ、満足度などを評価
・現状の**モビリティの課題を抽出し、新たな機器開発へ**繋げた
　結果：対象2名全員が機器を活用して就労を継続
　就労に特化した機器を開発中

ご清聴ありがとうございました

公益財団法人テクノエイド協会　企画部　五島清国

〒162-0823　東京都新宿区神楽河岸1－1
セントラルプラザ4階

電話　03－3266－6883
電子メールアドレス　goshima@techno-aids.or.jp